

伊吹山登山 報告書

日程：5月26、27日 一泊二日

場所：滋賀県米原市 伊吹山 1377m 最寄り駅：JR 東海道線 近江長岡駅

目的：高山植物で有名な伊吹山へ花を見に行く

タイムスケジュール

集合； JR 京都駅烏丸中央口 切符売り場付近 13:50

移動； JR 京都駅 (JR 琵琶湖線) 14:30 発～米原 15:21 着 (乗換)～

15:44 発～近江長岡駅 15:53 着

湖国バス 近江長岡 16:17 発～登山口 16:33 着

山行； ゴンドラ横登山口 16:55 発～一合目 17:30～二合目 18:00～

三合目キャンプ場 18:40 到着、テント設営後夕食作り、夕食 19:35

就寝 21:00

一日目歩行時間 約1時間40分

起床；02:00、出発 02:30～五合目 02:47～山頂 03:47 着、

日の出 04:42、朝食&山頂散策など

山頂 05:30～五合目 5:55～三合目キャンプ場 06:03 到着

テント撤収など

下山開始 08:00～一合目 08:30～登山口 08:52

適当なバスに乗車、帰宅 二日目歩行時間 約2時間40分

持ち物

個人装備：メインザック、サブザック、寝袋、断熱マット、軽食、水(2L)、タオル、帽子、日焼け止め、行動食、レインウェア、ヘッドランプ、コップ類(食器)、着替え&防寒着、トイレトーパー、夕食用ご飯、日曜の朝食

団体装備：テント(6テン×2、4テン×2)、鍋、バーナーヘッド×3、ガス缶×3、

費用：交通費；JR 京都 - 近江長岡 往復 1280 円×2 = 2560 円

湖国バス 近江長岡 - 登山口 往復 350 円×2 = 700 円 計 3260 円

公費；夕食代 100 円

緊急連絡先

顧問 横山茂樹

在京連絡人

京都産業大学守衛課 (075)705-1432

米原市米原庁舎 (0749)52-1551

山東庁舎 (0749)55-2040

救急病院 長浜赤十字病院 (0749)63-2111

市立長浜病院 (0749)68-2300

参加者

CL 藤田琢也(理3)
SL 山本修平(法3)
記録 中安祐貴(外3)
記録 橋崎裕幸(済2)
救急 杉原浩太(済3)
救急 橘隆太郎(済1)
羽根優介(法3)
沼田智哉(法3)
鈴木健悟(法3)
山川真史(法1)
川原将司(法1)
岩本唯(文1)
折田みゆき(法1)
廣谷潤(工1)
山中宏之 ゲスト

計 15 名

感想

藤田琢也

伊吹山は去年の秋に個人的に登頂した山であり、新歎山合宿である御在所の後に続く本格的な山行として企画しました。予想していたよりも数多くの方が参加してくれて、ある程度楽しい合宿になりました。

今回は参加者のレベルをはかるといふ目的もあり、あえて歩行技術などのアドバイスをすることをせず、各々好きなペースで登ってもらうようにしました。それぞれの反省でもあるように、今回の山行で自分自身の体力やペース配分など自分に必要なものが何なのか、各自で認識できたことは良かったと思います。

反省点としては、やはり山のルールについての理解が不足しており、その辺りの判断ができず騒いでしまった人たちが居たことですかね。個人的にはそこまできつく注意しなかったのですが、合宿の後だいぶ怒られたみたいなので今度の合宿では大丈夫でしょう。

ただ、山の上では周りが五月蠅いという状況は多々あります。雨が降ったり、風が吹いたり、雷が鳴ったりと自分たちでは何もできない場合もありますし、今回のように周りがうるさいというような人為的な騒音が聞こえる場合もあります。そんな状況でも寝なければならぬのです。眠れなくても、目をつぶって静かにしていれば体力は回復します。

ですから周りの状況に神経を尖らせるよりも、さっさと寝ることはあきらめて体力を回復させることに集中したほうが、次の日の行動を考えれば有効です。そうやって気持ちを楽にすれば自然と眠る場合もあります。これから他の合宿でもテントで泊ることがあると思うので、その辺を意識してほしいです。

他には、山道を歩き慣れていないということもあってか、歩くスピードが状況に応じてバラバラで、必要以上に体力を消耗しているのが見てとれました。この辺は本などで知識を吸収し、実際に山道を歩きながら自分自身で自分のペースを見つけることが大切だとおもいます。

夏山ではメインザック(15~20kg)を背負って、5時間以上歩くことが当たり前です。夏の合宿に参加しようと思っている人は、今の時期から体力づくりや歩行技術のために身近な山へ定期的に登ることをオススメします。

山本修平

総勢 14 名参加と多くの方が来てくれて良かったです。多少の個人差はありましたが、皆以前(御在所)に比べ長い時間重いザックを背負い、テント設営場所までよく頑張ってくれたと思います。

ただ、個人的なことですが遅刻をしてしまったこと等残念でした。以後気をつけます。また今回はテント場まで先頭に行くことになり歩くペースや休憩のとり方など、不慣れなだけに苦労しました。そして二日目の頂上までの道程、久しぶりにとても楽しい登山でした。山頂は寒かったけど(笑)

今回も各々がとても楽しめた合宿であったと思います 皆さんお疲れ様でした!!

鈴木健悟

伊吹山は春に行ったところでしたが、その時は雪の為登頂できませんでした。ということで今回はリベンジ登山。参加も前日に志願して同行させてもらいました。山としてのレベルはそれほど高くはありませんでしたが、山頂では耐寒訓練になってしまい、2年前の夏に起きた惨劇がフラッシュバックとなってよみがえるほどでした。今回の合宿ではいろいろと問題点がありましたが、大きな怪我もなく、皆さん無事に下山できたことが何よりだと思います。レンジャー!

杉原浩太

テントを張った場所が印象に残る。草に敷き詰められた地面でふかふかして心地よい、そんなテント場は経験したことがない。たいてい、砂地または土の上であったから芝生に感動した。登り下りとも快適に歩けたので満足している、しかしサブザックだったので当たり前なのか。最後に、伊吹からのぞむ琵琶湖を期待していたが、黄砂の影響が景色が良くなかったので残念だ。夏山にも挑戦したいなー

中安祐貴

伊吹山合宿は景色も良く、天候にも恵まれて素晴らしい思い出になったと思います。夏場のスキー場は新鮮な感じでしたが、登る分にはきつかっただけでした(笑)
レベル的にも初心者の人でも楽しめる良い山だと思いました。また行きましょう。

羽根優介

5月26日 何人かの部員とともに個人的に昼飯を食べ、東本願寺にて昼寝。出るタイミングを間違えて、集合時間に1分遅れる。また、米原行きの切符を買ってしまい、後に清算することに。

4時半くらいに到着し、着替える。ザックを背負い、登山開始。歩くペースが早すぎたのか、ダウンしてしまい、皆に余分に休憩を取らせてしまう。3合目に到着し、テントを張り、ご飯を作る。メニューは豚丼。家から持ってきた米3合にかけて食べる。その後、談話をして就寝。

5月27日 寝てる間に隣人に圧力をかけていたそうで、迷惑をかけました。1時前、話し声で起き、そのまま起床時間まで寝れず。まだ暗い午後2時に起き出し、出発。真っ暗な中、急な斜面を登る。この場面では、比較的自分にあったペースで登ることができたため、疲れは少なかった。結構早く頂上に着いてしまったので、寒さに震えながら日の出を待つ。日の出は綺麗でした。

その後、三角点を踏んでから下山開始。途中、指に怪我をしてしまい、治療のため、遅れる。比較的早くテントに到着したため、2時間ほど皆でお話しながら時間をつぶす。が、ちょっと下品というか、グロテスクな話題で盛り上がってしまった。反省している。その後、一気に下山。バスに乗ってJR 駅に。そこから電車に乗り、京都駅へ。ラーメンを食って解散し、終わり。

沼田智哉

今回が初めての合宿参加という事で、若干不安もあったけど、ケガもなく、無事登りきれたし良かったです。ただ平地と山頂の気温の変化(寒さ)は、相当こたえました。登山は普通に生活していく中では体験できない事で、貴重な経験だったと思うし、良い時間を過ごせたと感じています。また参加したいと思っているので、その時はよろしくをお願いします(^)

橋崎裕幸

自分にとっては初めてのメインザックでの山行であり、いつもの山よりはずっと疲労した。夏の北アルプスに向けて、体力と気力を更に充実させるべきだと感じた。今回は黄砂の影響で見晴らしはあまり良くなかったが、山頂で見た日の出はとても綺麗だった。それと、起床時間の前から自分と他数名が起き出したため、騒がしくしてしまい周りに迷惑をかけてしまった。今後は山のマナーにも気を遣うようにしたい。

山川真史

初めての山登り、初めての大学での部活動。それは自分にとって人生の大きな1ページに刻まれる事となる貴重な経験だった。ふだんでは味わえない自然というものの雄大さがひしひしと伝わって来た。同輩や先輩達と一緒に山登りが出来て本当に楽しかった。最初は元気に登っていたがさすがに後半ではへとへとになり自分の体力のなさを改めて感じたw頂上の絶景、登りきった時の達成感は計り知れない喜びだったのである。

でそこまで良かった思い出で、悪かったのは睡眠時間。5時間しかないのに、隣りのテントのメンバーが夜12時からずっとしゃべっていたのは本当に止めて欲しかった。おかげで1時間くらいしか寝られなかった。故意に人の迷惑になる行為をする人には何か対策を立てて止めやせて欲しいものだと思う。

橋隆太郎

初めての山登りではなかったものの、少々きつかったのは自分の体力の無さを痛感させられるものでした。天気も暑いといえば暑かったですが、風が気持ちよかったのは「自然の中にいるんだ」と実感させられるものがあり、常にはない感覚に何かうれしくなりました。テント設営の時はやり方がわからず、先輩に迷惑をかけたので以後は気をつけたく思います。山頂での夜景も絶景でしたが、日の出を見た時は何かこみあげるものがありました。山を登って良かったと感動しました。

また今回は救護でしたが、それなりのことはできたと思っています。唯一、けが人の治療をもう少し迅速に行い、遅れた分を短縮し負傷者の負担を軽減することをもう少し心がけるといふ反省点も残りました。今回で「いろいろ」なことがわかったので今後にしっかりと生かしていきたいと思っています。

川原将司

合宿が始まる少し前から、伊吹はそんなに「難易度」は高くない、と聞いていたのでいつもの調子で挑んだのですが、キャンプ場までの坂が予想以上に厳しく、メインザックを背負っていた事もあって、合宿前半からかなり体力を使ってしまいました。

キャンプ場からの登山は、深夜、ヘッドランプの明かりだけを頼りに登ったので、良い足場を探すのに神経を使い、精神的に疲れてしまいました。その分、頂上が見えた時の達成感は気持ちの良いものでした。

合宿当日は黄砂のせいで夜景を見ながら登山ができなかったので、そこだけは残念でした。

廣谷潤

今回は中腹から、軽装だった御在所岳とうってかわり、一合目、ザックを背負っての伊吹山登頂でしたが、自分の貧弱さがよく分かった合宿でした。

登り始めてからしばらくして体力がなくなり、後は根性の闘いになりました。

また、早朝(未明)からの側面をひたすら蛇行は、体力より精神力に響きました。

山頂に着くと動かなくなるので寒く、また降りる頃にはまた暑くと、季節と時刻のために暑かったり寒かったり忙しい山登りでした。

今回体力が無いのがよくよく分かったので頑張っ体力付けようと思います。

岩本唯

今回は個人的に反省すべき点が多かった。特に電車の件。自分の下調べが甘かったために、余分な出費と余計な心配をかけてしまった。今回は間に合ってよかったが、もう少し団体行動をしているという自覚と責任を持つべきだと思う。

また、今後の目標としてはトレーニングを積んで先輩たちに遅れないようにしていきたいと思う。具体的には天保山 1000 往復というトレーニングしていきたい。

折田みゆき

初めての本格的な登山ということで、かなり緊張していましたが、案の定かなりシンドイものになりました。やはり洞窟の時同様、体力の無さを痛感しました。

また、直前に登山靴の購入を踏みとどまったが為に、高校の運動靴で登るハメになったので足の裏と爪が痛くなりました。このように個人装備の不備に問題があった合宿になったので、次回までに何を優先させて購入すべきかを知る良い機会ともなりました。ただし、先輩方にご迷惑をおかけしたのは本当に申し訳なく思っています・・・。

あと残念だったのは黄砂ですが、考え方を換えれば、山の上から米原市に滞る見事な(?)黄砂を観察することができたので特に不満はありません。ですが澄み切った朝を次回はぜひ見てみたいものです。

それから、夕食は個人的にとてもおいしく感じられました。初回がパエリアでしたし(笑)ご馳走様でした。

山中宏之

今回の伊吹山登山は、僕にとっては、いい経験になったと思います

部外者としての参加でしたが、いろんな人としゃべることができて、実際、僕は後方で活動してしまうのではないかなと思いましたが、結果的には積極的に活動して良かったと思っています

ただ、僕としても反省があり、料理の時にみんなが働いている中で、遊んでしまったことは非常に反省しております。

あと全体の反省は、バラバラではなく、全体で固まって歩いた方が良かったかな?と思います。ペースとかそういう問題がありますが、やっぱり全体で歩いた方が何かあった時に全体で把握出来たし、実際、救護の人が近くにいないグループもいたので、僕としてはこの方が良かったかな?と思っています。

反省は以上です。

最後にまとめですが、みなさん怪我もなく無事に登山できたのが何よりです。

探検部の皆様ありがとうございました